

令和5年度 学校経営方針

練馬区立北町西小学校長 小松田 早苗

1 学校教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、自立的精神に満ちた健全な人間の育成、日本の文化と伝統を尊重し、国際社会に貢献する日本人の育成、生涯にわたり、自らをみがき心豊かにたくましく生きる人間の育成を目指し、次の子供像を掲げてその育成に努める。

※◎が重点目標

◎自らをみがき学び合う子

(人の話をよく聞き、自分の考えを発表できる子、基礎基本の学力が定着している子)

○思いやりがあり助け合う子

(みんなと仲良く協力する子、挨拶ができルールを守る子)

○心と体をきたえやりぬく子

(体力のある子、集中力があり最後までやり抜く子)

2 目指す学校像

○今日が楽しく明日が待たれる学校

○子供の良さを見出し、可能性を伸ばす学校

○子供の安全が確保され、安心して過ごせる学校

○保護者、地域と連携し、内にも外にも開かれた、地域住民に信頼される学校

○職員のもてる力を結集し、組織力を発揮できる学校

3 学校経営の基本姿勢

- ・ 加点的な指導を心掛け、児童に自信と自己肯定感をもたせる。
- ・ 児童と教職員のふれあいを通して児童の側に立った受容的な態度に努め、児童理解を深める。
- ・ 全ての教育活動を通じて人権意識を高める。いじめ・体罰は絶対に「しない、させない、見過ごさない」という毅然とした態度で、いじめや偏見、差別のない温かい人間関係を醸成する。
- ・ 北町西小のすべての教師がすべての子供の担任として、学級、学年、専科の枠を越え、全職員が協力して、「みんなで」子供を育てる。
- ・ 地域教材、地域人材を積極的に活用し、地域の素晴らしさを理解し、地域を愛する子供を育てる。
- ・ 教職員にとって最も大切な児童との時間に最大限の力を発揮できるよう、心と時間にゆとりを生み出すための業務精選、効率化を図る。

4 今年度の具体的な取り組み

【学力の向上】(基礎基本と活用、楽しく学ぶ雰囲気醸成)

- ・ 発達段階や個に応じた適切な目標設定と評価の実施。時間毎の「めあて」と「ふりかえり」
- ・ 「学力向上アクション」の実施(算数習熟度別全国学力調査問題の分析・教員の活用研修、自作問題による「KN i グランプリ」・2回、学力診断テスト)
- ・ 朝学習(週3回)、放課後補充教室(年間)の習熟、ベーシックドリルの効果的活用(年間)、家庭

学習の習慣化による基礎・基本の定着

- ・タブレット等、ＩＣＴ機器の効果的活用を図るための教員研修、授業実践公開
- ・学校地域連携事業を中核として保護者、外部機関と連携した授業の実践、地域未来塾の実施
- ・全ての児童の発達に照らし合わせた授業のユニバーサルデザイン化

【体力の向上】

- ・体力向上旬間の設定（なわとび、持久走）
- ・体育授業における運動量の確保、多様な動きを取り入れた学習
- ・「北西ギネス」による児童の体力向上への意欲喚起
- ・中休みの外遊び、学級遊びの励行
- ・ゲストティーチャーによる体育の授業、課外スポーツの充実

【学習・生活規律の斉一的な指導】

- ・「北西あいさつスタンダード」の確立 校長、看護当番教員による朝の挨拶指導
- ・時間を守る指導（開始、終了、時間を意識した準備行動）、教師の率先垂範
- ・学習規律定着のための全校共通指導「はい・たつ・です」「声のものさし」「聞く・聴く」
- ・「北西小のやくそく」「ＳＮＳ北西ルール」児童、保護者の共通理解
- ・「玄関は、学校の顔」として美化を維持する。靴を揃え、傘を持ち帰る指導
- ・教室置き学習用具の管理・整頓指導

【豊かな人間関係の醸成】

- ・人権的配慮がなされた校内の言語環境の整備、指導の徹底（敬称、共感的理解、配慮ある作品、掲示物）
- ・相手意識をもった挨拶の指導、定着
- ・言葉の暴力の根絶、言語感覚の醸成
- ・いじめ防止対策の組織的な対応（予防の視点を盛り込んだ調査年間６回、早期発見、早期対応）
- ・全学年学級編成替えの実施
- ・児童個別支援、家庭支援に関する情報ファイルの一元管理

【特別支援教育の推進】

- ・特別支援コーディネーターを核とした、全教職員による組織的な児童支援
- ・専科教員の学級への支援体制の構築
- ・授業や校内環境のユニバーサルデザイン化
- ・子ども支援委員会の体制整備と連動した専門スタッフ、関係機関とのネットワークの構築
- ・言語障害学級教員による通常の学級へのコンサルテーション
- ・特別支援教室（本校名称「ＳＴＥＲスター」）の円滑な運営と通常学級との連携
- ・スクールカウンセラー、ふれあい相談員等と連携した教育相談の充実

【保護者・地域との連携、保護者・地域への発信】

- ・感染症予防ガイドラインの改定に基づく学校生活の安全管理、対応の周知
- ・職員の地域の歴史、地域行事への理解と参画意識の醸成
- ・学校地域連携事業を活用した取組・実践（地域・保護者との連携、ゲストティーチャーの活用等）
- ・おやじの会による学校行事等への支援・協力
- ・学校ホームページの充実 定期的な更新頻度を上げるための組織、システムの構築
- ・学校だより、学級通信、行事関連通信の発行による教育活動の発信及び情報共有
- ・学校連絡メール 新システムへの移行（区、夏以降予定）